市民と議会をつなぐ

議会だより

2026
第70号

令和8年
9月定例会



「ネーミングライツ対象施設」（多久市緑が丘弓道場）

令和８年　９月定例会

令和８年９月市議会定例会は９月１日から９月25日まで（会期25日間）開かれました。今回は６人の議員が市政一般に対する質問を行いました。

９月定例会では、市長から提出されました議案20件（条例２件、予算５件、決算８件、その他５件）の議案について審査し、いずれも原案どおり可決しました。

９月定例会の主な議案

（甲議案）予算以外の議案

多久市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例

災害応急作業等手当を支給するため、条例の一部を改正するものです。

（主な内容）

・災害対策基本法に基づき災害対策本部が設置された地方公共団体に派遣されて行う応急作業、避難所運営、罹災証明に係る家屋調査などに従事した場合に、災害応急作業等手当（日額１，４４０円）を支給

・令和８年熊本地震に係る職員派遣から適用

《施行日》公布の日

（適用日：令和８年７月28日）



多久市税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

①家屋、償却資産の固定資産税に係る免税点の引上げ

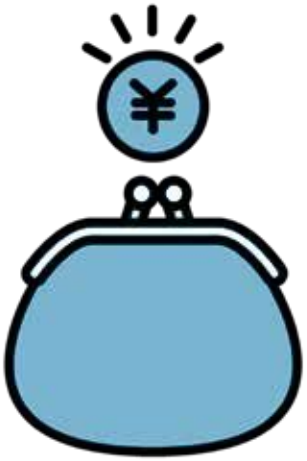
《施行日》令和９年４月１日

②市民税の控除、特例などの所要の整備

《施行日》令和９年１月１日

令和10年１月１日

法の施行日（未定）の属する年の翌々年の１月１日



（乙議案）予算に関する議案

令和８年度多久市一般会計補正予算（第３号）

（主な事業）

▼高性能林業機械導入支援事業

（２，２３０万円）

森林作業の効率化・時間短縮を行うため、枝払い、玉切り、集積作業を一貫して行うことができる林業機械（プロセッサ）を導入する林業事業体を多久市・小城市共同で支援する事業です。

【全体事業費】

多久市負担分　２５０万９千円

（財源内訳）

森林環境譲与税基金繰入金

２５０万９千円

▼９，７５７万１千円を増額し、予算総額１４９億２，９９８万７千円とする補正予算を原案どおり可決しました。



令和８年度多久市国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）

前年度繰越金を基金に積み立て、前年度清算償還金を基金より繰り入れするなどの議案です。

▼7，730万円を増額し、予算総額26億3，568万9千円とする補正予算を、原案どおり可決しました。

令和8年度多久市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

前年度繰越金を事業主体の広域連合へ納付する議案です。

▼168万5千円を増額し、予算総額4億3，903万3千円とする補正予算を、原案どおり可決しました。



令和8年度多久市下水道事業会計補正予算（第1号）

修繕費などを増額する議案です。

▼752万9千円を増額し、予算総額11億5，269万4千円とする補正予算を、原案どおり可決しました。

議案質疑

提出された議案について、議案の提出者（市長か議員）に対して、議案の内容や提案の理由などについて疑問点や不明な点を尋ねること

鷲﨑　義彦



■議案甲第33号
多久市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例について

Q 新設される災害応急作業等手当の法令上などの位置づけは。

A 職員が危険性、困難性を伴う作業に従事した場合に、その勤務の特殊性を考慮して給与制度において手当を支給するもので、災害対策基本法に基づき災害対策本部が設置された地方公共団体に派遣された際に行う応急作業や避難所の運営、罹災証明に係る家屋調査などに従事した職員に日額1，440円を支給するものです。

Q 国では人事院規則に基づき同様の手当てを支給するようになっているので、地方自治体においても同様に対応してもらえればという文書を令和6年1月に発出されていますが、2年半ほど経過した今、議案提出となったのはなぜか。また、県内他市の対応状況は。

A 本市では、今回の特殊勤務手当について、慎重に検討していたためこの時期になったものです。他市の状況は、佐賀市、武雄市が令和7年4月より、唐津市、嬉野市は令和8年4月より施行されています。

Q 同様の事案などありましたら、迅速な対応を。

A 必要な検討を行いつつ、適時適切な対応に努めます。

各常任委員会の動き

○総務文教委員会

10月6日～7日
視察研修
兵庫県神戸市：防災・減災について
岐阜県岐阜市：不登校児童生徒の支援体制について

○産業厚生委員会

10月21日～23日
視察研修
兵庫県朝来市：農業振興施策について
兵庫県養父市：観光施策と道の駅の運営について

○議会広報委員会

9月29日　第1回議会だより編集
10月8日　第2回議会だより編集
10月19日　第3回議会だより編集



決算特別委員会審査報告

決算特別委員会審査報告

決算特別委員会が付託を受けた以下の8議案については、慎重な審査および現地踏査の結果、予算編成の目的に沿って執行されていることを認め、原案どおり認定・可決すべきものと決定しました。

議案乙第18号	多久市一般会計歳入歳出決算
議案乙第19号	多久市給与管理・物品調達特別会計歳入歳出決算
議案乙第20号	多久市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算
議案乙第21号	多久市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
議案乙第22号	多久市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
議案乙第23号	多久市病院事業清算特別会計歳入歳出決算
議案乙第24号	多久市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案乙第25号	多久市下水道事業会計決算

多久市の令和7年度一般会計の決算歳入（収入）は158億9，930万4，910円で決算歳出（支出）は154億2，537万3，304円でした。歳入歳出差引額は4億7，393万1，006円で、令和8年度に繰り越した4，834万5，100円を引いた4億2，558万6，506円が実質的な収支（黒字）となっています。

《令和7年度の施策について》

定住政策推進事業

（6，361万5千円）

市外からの転入の推進および転出者を抑制するための定住奨励事業です。

・空き家バンク新規登録数
　土地10件　家屋23件
・子育て若者世帯定住奨励金
　新築30世帯（109人）
　中古8世帯（30人）
　合計38世帯（139人）
・空き家バンク利活用補助金
　9世帯（23人）
・奨学金返還支援補助金　55人
・移住子育て世帯家賃補助金
　13世帯（新規2世帯）
・新婚世帯家賃補助金
　49世帯（新規9世帯）

定住奨励事業により、延べ99世帯363人の移住・定住につながりました。



ふるさと応援寄附事業

（5億9，600万2千円）

ふるさと納税に対する返礼品費および事務経費です。

・返礼品費
　3億2，696万3，780円
・事務経費など
　2億6，903万8，375円

◎ふるさと納税の件数および金額

令和6年度　67，672件
　13億598万6，000円
令和7年度　44，271件
　10億2，138万5，000円

空家等適正管理事業

（1，101万円）

放置または管理不全となっている不良住宅の解体費用について助成を行う経費です。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業

（1億9，320万3千円）

物価高騰の影響を支援するために、臨時交付金を活用し、実施した事業です。

・物価高騰対応重点支援給付金事業（低所得世帯支援など）
　6，579万7，960円
・多久市団結クーポン券（第4弾）発行事業
　5，056万6，723円
・多久市保育所等給食費支援事業
　1，115万1，000円

ふるさと振興事業

（160万円）

地域活性化のため基金を活用した各種活動に対し助成する事業です。

・イベント事業　13件　60万円
・人材育成事業　45件　100万円

防犯事業

（214万2千円）

・防犯灯の整備のための経費（工事請負費など）　21万100円
　防犯灯新設実績
　LED新設　8か所

・各行政区が行う防犯灯設置事業を推進するための補助金
129万6,000円
防犯灯設置実績
LED新設　17か所
LED交換　92か所　ほか

敬老事業　（243万9千円）
市内最高齢者および100歳到達者への表敬訪問、敬老祝金の支給。
・88歳（1万円）
152人（昨年度131人）
・100歳（3万円）
15人（昨年度16人）
・101歳以上（1万円）
31人（昨年度24人）



多面的機能支払交付金事業
（4,940万3千円）
地域において農地、水、環境など多面的機能の保全とその質的向上を図ることを通じて地域の振興に資するため、農地維持および資源向上活動に対して支援する事業です。
・農地維持活動　27組織
1,948万6,600円
・資源向上（共同）活動　25組織
1,136万9,550円
・資源向上（長寿命化）活動
16組織　1,765万1,476円

入学時学用品準備支援事業
（177万8千円）
保護者の負担軽減のため、新一年生に必要な学習教材などを提供するための経費です。

県研究指定校事業（教育課程・学力向上）　（19万9千円）
県の指定を受け中央校で、複数の教員が協力して学級を運営すること（チーム担任制）で教員個々の負担を軽減し、新規採用教員の指導力、対応力の向上を図り、児童の学力や生活力を向上させる事業です。
■**対象**　中央校　前期課程　5年生

■**市内義務教育学校児童・生徒総数**

学校名	人数
中央校	751人
東部校	260人
西渓校	204人
合計	1,215人

（令和7年5月1日時点）

施設補修事業
（1,403万4千円）
日常点検による学校施設の修繕、工事および維持管理などの経費です。
・西渓校後期運動場バックネット解体撤去工事　54万8,086円
・西渓校前期体育館西側外壁一部張替え工事　194万7,000円
・西渓校後期屋内運動場LED照明更新工事　385万9,900円

グリーンパーク運営事業
（1,225万8千円）
パークゴルフ場と多目的広場を併設した施設の管理・運営のための経費です。



◇◇◇《付帯意見として》

決算特別委員会として、今後改善あるいは検討を求める事項について、次のとおり意見を取りまとめ、今後の施策や予算案に反映するなど、適時適切な措置を講じるように付帯意見しました。

歳入

ふるさと応援寄付金については、市にとって非常に重要な財源である。
市政運営への影響を鑑み、今後も安定的な財源を確保するため法令を遵守し、なお一層のPRなどに努めること。

歳出

【総務費】
まず、危機管理備蓄品について、いつ災害が起きてもおかしくない状況の中、初動に必要な一定数の防災食などを常時確保しておくことは不可欠である。早急に、計画的に一定数の確保ができるよう検討すること。
次に、奨学金返還支援補助金について、若者の転出防止に資する施策であることから、対象者へさまざまな媒体を活用して制度の浸透を図

り、若者の定住・定着に向けた取り組みを一層強化すること。

【衛生費】

がん検診事業について、受診者が年々減少傾向にある。市民の健康増進のためには疾病の早期発見、早期治療が大切であるため、公立佐賀中央病院での検診など制度の周知徹底を図り、一定の目標を持って受診率の向上に努めること。

【農林業費】

ため池劣化豪雨耐震調査について、調査の結果によると、多くのため池が大規模災害時には地域に広く影響を及ぼす可能性がある。関係する地域住民に更なる情報共有を図り、ため池管理者である地元と、関係者が連携して地域の安全を守れるよう努めること。

【商工費】

まず、ウォールアート推進事業について、これまで多くの作品が完成している。今後は「没入型」や「周遊型」といった体験型観光などの新たなコンテンツとの連携により、多久の活性化につなげていただきたい。また、佐賀広域圏観光等推進協議会における取り組みについて、広域連携し、回遊性のある観光振興に努めていただきたい。

【土木費】

まず、道路愛護助成金について、地域によっては住民の高齢化も進み、除草作業を行うことが厳しい状況のところもあるので、協力いただいている地域や団体の意見も聞きながら、今後もその活動が継続できるように必要な支援を行っていただきたい。次に、公園の維持管理について、園内の樹木が景観に与える影響は大きいので、計画的な点検などにより適正な維持管理に努めていただきたい。

【教育費】

文化振興事業について、寄贈された作品や資料などについては適切に保管し、活用していただきたい。



多久市 ウォールアート プロジェクト



《現地踏査について》

9月17日に西渓公園橋梁補修工事、市内公園照明施設更新工事、西多久多目的グラウンドレクリエーション広場屋根防水改修工事の3か所について、現地踏査を行いました。



■市内公園照明施設更新工事



■西渓公園橋梁補修工事

《付帯意見として》

西多久多目的グラウンドレクリエーション広場屋根防水改修工事について、破損部分をより耐久性が高い材質に変更するため、屋根からの採光機能は廃止となった。今後は、長期的な維持管理費と機能の必要性について、事業計画の段階で十分に検討されたい。



■西多久多目的グラウンドレクリエーション広場屋根防水改修工事



一般質問一覧表

多久の気になる課題











彌冨　博幸 議員

『持続可能なまちづくりについて』

田渕　　厚 議員

『市職員の人材育成について』

古賀　公彦 議員

『旧市立病院跡地・跡施設について』

『買物困難地区対策について』





市丸　勝義 議員

『縮小社会における多久市の今後について』

廣橋　時則 議員

『厳木多久道路の無料化について』



坂口　絹代 議員

『避難所環境の改善と多様なニーズの対応について』

『子どもの未来を守る包括的支援と子どもの貧困対策推進について』



持続可能なまちづくりへ挑戦は続く



彌冨博幸議員

持続可能なまちづくりについて

彌冨　市長の「5つのアクション」1年間の取り組みは。

答弁　第1子からの保育料無償化、小学校入学時の学用品支援、体育館への空調設置のため設計着手、自治会活動に対する支援事業、企業誘致2社などです。

彌冨　「5つのアクション」の優先順位は。

答弁　地域の実情と実施に向けた課題などを踏まえ、優先度が高い政策は何かを見極め、事業実施に向けて検討を進めていきます。

彌冨　旧清掃センターの解体は。

答弁　旧清掃センターの解体撤去は、地域の安心安全確保、跡地利活用を含めて重要な課題と認識しています。解体には多大な費用が見込まれることから、スケジュールや活用可能な補助金の検討、工法などについて情報収集に努めているところで、市の財政状況を見極めて令和9年度以降の解体に向けて検討を進めているところです。

彌冨　新市庁舎建設の今後の展望は。

答弁　昭和48年建設から50年以上経過しており、老朽化や防災拠点として耐震性や機能において不十分な点もあり、行政サービスを安定的に継続していくためには、新庁舎の整備は避けては通れない重要な課題です。建設にあたっては建設時期も含め、慎重かつ着実に進めていく必要があると考えています。



時代の急速な変化の中での職員の人材づくり



田渕　厚議員

市職員の人材育成について

田渕　市の求める人材は。

答弁　市の求める職員の理想像は1つ目に、自ら多久市の課題を見いだし解決する政策を企画立案する能力。2つ目が地域住民の意見を傾聴し、合意形成ができるコミュニケーション能力。3つ目は、社会変化に柔軟に対応し、常に自らを振り返り、主体的に成長し続ける職員です。

田渕　庁内のデジタル人材や専門知識を持つ職員をどのように育成しているのか。

答弁　職員一人一人が日々の業務で自己研鑽をし、市町村アカデミーや佐賀県市町村振興協会などが主催する研修を受講しスキルアップに努めています。

田渕　人材の適材適所とモチベーション向上の取り組みは。

答弁　人事評価の結果や日々の業務を通じて把握した適性、能力、経験などを総合的に勘案し、人事配置を行っています。モチベーション向上は日々の頑張りや挑戦する姿勢を適切に評価することが重要と考えています。

田渕　人事評価の処遇への反映は。

答弁　能力評価と業績評価を適切に行い、その結果を期末・勤勉手当や昇給・昇任に反映させています。また、上司と部下による面談を実施し、人材育成や次への意欲につながるように努めています。



旧市立病院跡施設利活用はどうなるの？



古賀公彦議員

旧市立病院跡地・跡施設について

古賀　跡地・跡施設の利活用の進捗状況は。

答弁　地歴調査の結果、病院運営で特定有害物質を使用していたことから、土壌汚染の可能性が示されました。今後、既存施設を解体するとなれば、県への届出や土壌調査などが必要となります。こうした課題があることから、当面の間は既存施設の利活用を優先する方向で検討し、小売業や飲食また介護施設など民間活力などの誘致に向けた取り組みに努めているところです。

古賀　地歴調査後の土壌サンプリング調査は行わないのか。

答弁　当面の間は既存施設の活用を優先する方向なので、現時点でサンプリング調査は行いません。

古賀　跡地活用として「道の駅構想」について提案したが、官民連携で複合施設の検討はできないか。

答弁　道の駅構想をはじめ地域活性化のご提案については、まちづくりの重要な視点とし、また観光案内所や複合施設といった公的機能を持つ施設整備については、地域への誘客や住民サービスの向上や防災拠点としての機能など多面的な効果が期待できる選択肢の一つであると認識しています。一方で巨額な初期投資や維持管理費が財政負担となる懸念があることから、地域の将来を見据えた貴重な提案として今後の参考にさせていただきます。



人口規模から住民満足度への転換期では



市丸勝義議員

縮小社会における多久市の今後について

市丸　多久市の人口推移は。

答弁　本市の人口が25，000人程度であった平成2年国勢調査結果から、令和7年度は速報値で、16，825人となっています。

市丸　定住奨励金を支給しても、人口減少が拡大している要因は。

答弁　社会動態の転出者数増に加えて、自然動態も要因の一つではないかと考えています。しかしながら、奨励金制度のアンケート結果では、人口減少に対する一定の抑止効果はあると考えています。

市丸　人口増加施策だけでなく、住民満足度向上への認識は。

答弁　住民満足度を分析することが必要であると考え、ウェルビーイング指標のアンケート調査を実施しました。

市丸　アンケート結果による多久市の課題は。

答弁　地域への愛着や助け合いの意識など、共助の姿勢が県内市の平均値より高い結果となり、暮らしの満足度や買物は低い結果となっています。

市丸　「人口」から「住民満足度」という観点での今後の方向性は。

答弁　住民満足度の向上と定住促進の充実は、どちらか一方の選択というより、バランスを取りながらやっていくことが必要だというふうに考えています。それぞれの視点を持ちながら、時代の潮流や社会情勢、地域の実情などを見極め、施策の充実に努めていきます。



多久IC周辺に「道の駅」整備で活性化を



廣橋時則議員

厳木多久道路の無料化について

廣橋 **有料道路が無料化され、多久の市街地を通る旧国道203号だった現県道350号の交通量は、どれぐらい減少すると考えているのか。**

答弁 具体的な数値については調査はしていませんが、朝の通勤時間帯については、6割から7割程度が厳木多久道路を利用しているように感じています。

廣橋 **県道350号沿いの既存の飲食、商業施設などにも多大な影響が出るのでは。**

答弁 沿線に立地するコンビニエンスストアなど、一定の影響が生じることは予測されます。

廣橋 **県道350号を通りたくなるような対策は。**

答弁 市内に来訪してもらうようなイベントなどの計画を協議し、周知、広報の強化を図っています。

廣橋 **市外から人を呼び込み、滞留してもらうために多久インター周辺に道の駅を造ることは検討できないか。**

答弁 道の駅構想は可能性がある取り組みであると考えています。しかし一方では、道の駅の整備に当たり、整備の手法、用地の確保、財源の確保、そして、運営方法などのさまざまな課題もあります。整備における効果と課題などを総合的に勘案し、道の駅整備の可能性を検討していきます。



命と尊厳を守る避難所



坂口絹代議員

避難所環境の改善と多様なニーズの対応について

坂口 **避難所のトイレ環境の改善は。**

答弁 少しでも快適なトイレ環境をつくるために、においが漏れにくく、後処理が簡単であり、水が使えない場所でも使用できる簡易トイレ「ラップポントイレ」12台を今年度購入予定です。

坂口 **女性防災士の現状と育成は。**

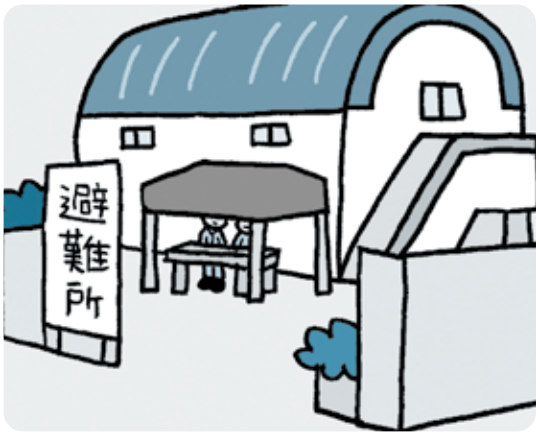
答弁 本年8月末時点で、防災士登録者59人のうち女性は8人です。今年度は2人の女子高校生が防災士の資格試験を受験予定です。避難所運営をはじめとする多様な場面で力を発揮できるよう、女性防災士の層を厚くするために引き続き努めていきます。

坂口 **民間の社会福祉施設との協定や支援体制は。**

答弁 5つの社会福祉施設を福祉避難所として指定していますが正式な協定の締結には至っていません。よりスムーズな受け入れ体制を構築するため今後、各社会福祉施設との協定の締結を進めていきたい。

坂口 **ペット同行・同伴避難について基本方針やガイドラインなど作られているのか。**

答弁 具体的なペット用避難スペースの整備や、受け入れに関するガイドラインの策定については十分に進んでいません。県内の他市町における先進的な取り組みを参考に研究していきます。







＼あの一般質問どうなった？／

このコーナーは過去に各議員が一般質問を行った事案で、その後その質問が多久市政にどのように反映されているのか、また今後どのように反映されるのかをお伝えします。

令和５年６月定例議会　「子どもの医療費助成における高校生年代の助成方法について」

当時の答弁：国の子ども未来戦略方針の加速化プランにおいて、国民健康保険の国庫負担の減額措置を廃止するなど必要な措置を講ずるとなっておりますので、今後国の方針を見ながら子どもと保護者にとってより良い制度となるよう検討を進めていきます。

市側の対応：令和８年11月１日受診分から、高校生年代の医療費助成方法が、中学生年代までと同様に市役所窓口での手続きが不要な現物給付方式に変わります。佐賀県内の医療機関であれば、窓口では自己負担額のみの支払いで完了するため、利便性が向上し、子育て世帯の負担が大きく軽減されます。

令和５年９月定例議会　「熱中症対策として体育館の避難所には空調設備が必要なのでは」

当時の答弁：現在、スポットクーラーと大型扇風機を配置し対応しています。今の暑さを考えますと、補助事業などの活用を含め、検討はしていく必要があると認識しています。

市側の対応：体育館への空調導入について、近年の気温上昇や学校での利用状況、災害時の避難所としての役割から必要性が高いと考えています。 令和８年９月定例会では、避難所に指定されている東部校、中央校、西渓校の体育館について、早急に空調設備設置工事を実施する予定で進める方針を示しました。今後は、今年度行っている空調設備設置に向けた調査・設計の結果を踏まえて、活用できる財政措置を検討しながら、準備を進めています。

令和６年３月定例議会　「ネーミングライツ（施設命名権）導入について」

当時の答弁：令和６年度から制度導入に向けて検討を進めていきたいと考えています。

市側の対応：ネーミングライツ制度は、公共施設などに企業名や商品名などの「愛称」をつける権利を企業に付与し、その対価として得た資金などで施設の維持管理や市民サービスの向上を図る事業です。多久市では令和６年度以降、施設の状況調査や要綱などの整理を行い、愛称募集の準備が整ったことから、令和８年９月１日から多久市体育施設ネーミングライツ事業を実施し、西多久多目的運動広場と多久市緑が丘弓道場を対象に９月１日から９月30日まで募集を実施しました。今後は、応募のあった施設については審査を行い契約への手続きを進めるとともに、応募がなかった施設については募集要項の検討を行い、事業の推進に努めていきます。

議員たちの横顔

中島國孝 議員



Q&A

Q.学生時代の部活動は
A.野球
Q.休日の過ごし方は
A.家庭菜園
Q.最近熱中している事は
A.韓ドラを見る事

～自己紹介～

おはようおじさんと言われて24年目です。あいさつを通じて皆さんとふれあい、心と心の和作りを続けており、毎日楽しい気持ちで過ごしております。



古賀公彦 議員



Q&A

Q.学生時代の部活は
A.サッカー・野球・バレーボール
Q.休日の過ごし方は
A.ドライブ・買物
Q.ストレス解消法は
A.ジョギング（有酸素運動）

～自己紹介～

私は、小さい頃から好奇心旺盛でスポーツや色んな事にチャレンジする性格であり、これまで調理師・防災士・食品衛生指導員など資格を取りました。



渡島幸司 議員



Q&A

Q.学生時代の部活動は
A.柔道・野球
Q.休日の過ごし方は
A.スポーツ観戦
Q.最近熱中していることは
A.野球の練習

～自己紹介～

私は、スポーツが大好き。見るのも好き、するのも好き。スポーツの話になると、ついつい話が長くなってしまいます(笑)。先日、県民体育大会のソフトボール競技に出場し、優勝しました。



市丸勝義 議員



Q&A

Q.学生時代の部活動は
A.剣道
Q.ストレス解消法は
A.インスタを見ての食べ歩き
Q.あなたにとってのヒーローは
A.布袋寅泰

～自己紹介～

多久に移り住んで30数年たちました。ほぼ仕事人間ですが、消防団や多久山笠、子ども食堂などをお手伝いすることで多久の魅力を伝えています。



【議会報告会開催のお知らせ】

議会報告会を下記の日程で開催します。議会の活動報告を行った後、参加者のみなさまと意見交換を予定しています。

11月４日㈬	北多久公民館・納所交流センター
11月５日㈭	西多久公民館・南多久公民館
11月６日㈮	東多久公民館・多久公民館

※いずれも開催時間は19時からです

UD FONT by MORISAWA
見やすくて読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
VEGETABLE OIL INK
環境に優しい植物油インキを使用しています。

発行／多久市議会　多久市北多久町大字小侍７番地１
TEL.0952-75-4828　FAX.0952-75-2110　E-mail：gikai@city.taku.lg.jp
編集／議会広報委員会　　印刷／株式会社 音成印刷

インターネット動画配信中！
多久市議会だより　検索